

長野県立美術館

東山魁夷館 コレクション展 II期

長野県立美術館（東山魁夷館）では、2021年度の「東山魁夷館コレクション展 II期」を下記のとおり開催します。ぜひ、取材をお願いします。

取材を希望される場合は、当館広報担当まで事前にご連絡ください。

1 期間

2021年(令和3年)6月3日(木)～
7月27日(火)

*休館日＝水曜日

2 場所

長野県立美術館(東山魁夷館)
(長野市箱清水1-4-4 善光寺東隣)

3 開館時間

9:00～17:00(最終入館は16:30)

4 観覧料

一般500円、大学生及び75歳以上300円、高校生以下又は18歳未満無料

5 内容

《灘江暮色》や《桂林月夜》、《黄山雨過》、《夕静寂》といった東山魁夷畢生の大作「唐招提寺御影堂障壁画」の準備作や関連作品及び戦前の初期時代に描いたスケッチをご覧ください。

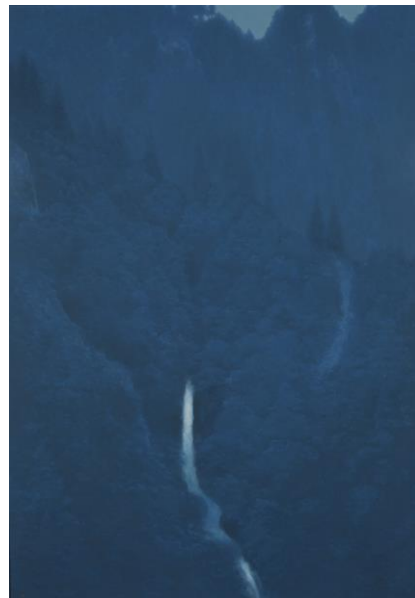
—関連イベント—

ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

- (1) 日 時：6月12日(土)、7月10日(土) (13:30～30分程度)
- (2) 場 所：東山魁夷館 展示室
- (3) 参加費：無料(ただし、観覧料は必要)
- (4) その他：申込み不要

※新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた上で開館しております。

※裏面に東山魁夷館年間展示スケジュールあり



《夕静寂》1974年



長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

長野県立美術館(旧信濃美術館)
(副館長)井上英
(学芸課 展覧会担当)上沢修
(広報担当)柄澤志保
(電話)026-232-0052(FAX)026-232-0050
(H P) <http://www.npsam.com>
(MAIL) npsam@npsam.com

「東山魁夷館 コレクション展」

1990(平成2)年に開館した東山魁夷館は、画家本人から寄贈された作品に加え、後に収集、寄贈された作品を含めると所蔵点数は970点あまり。2021年度は、本制作作品36点を6期に分け、奈良や京都、ヨーロッパの古都を描いた連作、「白い馬の見える風景」や「北欧風景」のシリーズ、「唐招提寺御影堂障壁画」の準備作、そして、初期時代の貴重な作品を加えて、静謐な東山芸術の全容をご紹介します。

■ I期 2021(令和3)年4月15日(木)—6月1日(火)

《緑響く》と《水辺の朝》、《山霊》や《春兆》、《静かな町》を中心に、「京洛四季」シリーズの習作、ドイツ・オーストリア旅行で心惹かれた「窓」をテーマにした小品の連作スケッチをご紹介します。

■ II期 2021(令和3)年6月3日(木)—7月27日(火)

《灘江暮色》や《桂林月夜》、《黄山雨過》、《夕静寂》といった東山魁夷畢生の大作「唐招提寺御影堂障壁画」の準備作や関連作品及び戦前の初期時代に描いたスケッチをご覧ください。

■ III期 2021(令和3)年7月29日(木)—10月5日(火)

連作「白い馬の見える風景」から《白馬の森》と15点の習作、飯山市の希望湖を描いた《静映》、また、《沼》や《沼の静寂》、《緑の窓》など夏の爽やかな風景を描いた作品をご紹介します。

■ IV期 2021(令和3)年10月7日(木)—12月7日(火)

東京美術学校時代に制作した《柿生の里》や《山谿秋色》の初期作品と、本制作の《夕紅》や《紅翳》、《紅葉の谷》など秋色の風景を象徴的に描いた作品を展覧いたします。

■ V期 2021(令和3)年12月9日(木)—2022(令和4)年2月8日(火)

東山ブルーを代表する《静唱》や絶作《夕星》をはじめ、《行く秋》や《木枯らし舞う》など、東山晩年の心象風景を描いた秀作を展示します。また、「北欧風景」及び「京洛四季」シリーズからスケッチ、習作をご覧ください。

■ VI期 2022(令和4)年2月10日(木)—4月12日(火)

信州の冬景をあたかな眼差しで描いた《静晨》《霧氷の譜》、連作「大和春秋」のスケッチ、習作18点と本制作《秋思》など古都奈良の美しい自然の風景を描いた名品を一堂に展示いたします。



長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

長野県立美術館(旧信濃美術館)
(副館長)井上英
(学芸課 展覧会担当)上沢修
(広報担当)柄澤志保
(電話)026-232-0052(FAX)026-232-0050
(H P) <http://www.npsam.com>
(MAIL) npsam@npsam.com